



2020年10月30日

各 位

会 社 名：北海道中央バス株式会社
代表者名：取締役社長 二階堂 恭仁
(コード番号 9085 札幌証券取引所)
問 合 せ 先：取 締 役 大 森 正 昭
専務執行役員
TEL 0134-24-1111

業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月15日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び2020年8月7日に公表しました「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりましたが、2021年3月期の連結業績予想について、下記の通り決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日 ~ 2021年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	29,100	△4,300	△3,500	△1,400	△534.09
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	38,094	1,044	1,215	220	84.08

2. 業績予想公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、上半期の輸送状況等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、通期連結業績予想を算出しましたので公表するものであります。

旅客自動車運送事業及び観光事業において、インバウンド需要の消失に加え、新たな生活様式の定着や外出の自粛などが続き、大きなダメージを受けていることなどから、売上高は29,100百万円(前連結会計年度比23.6%減)と大幅な減収の見通しであります。

設備投資の抑制や費用削減を図るとともに、国の各種支援制度を利用しておりますが、大幅な減収により営業損失は4,300百万円、経常損失は、3,500百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は、1,400百万円となる見通しであります。

なお、当連結業績予想は、主たる事業である旅客自動車運送事業のバス利用状況が、2021年3月までに徐々に回復することを期待しつつも、コロナ禍前の利用状況まで回復しないとの想定のもと策定しております。

また、配当予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づきながらも、不確実性要素が多々あり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上